



 食の安全を中心とした取り組み  
CSR報告書 **2016**

## 目次 Contents

編集方針	2
企業理念／トップメッセージ	3
会社概要	4

## お客様とともに

食の安全への取り組み	5
お客様とともに	10

## 地域・社会とともに

お客様とのコミュニケーション活動	11
------------------	----

## 株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様とともに	15
---------------	----

## 従業員とともに

従業員とともに	16
---------	----

## 環境活動

環境方針／環境マネジメント	20
事業活動のマテリアルバランス	22
環境保全活動	24

## 経営マネジメント体制

コーポレートガバナンスと内部統制	27
コンプライアンス・情報セキュリティ／ リスクマネジメント	28

不二家のあゆみ	29
---------	----



## 編集方針

不二家では、「お客様」、「地域・社会」、「株主・投資家」、「従業員」、「環境」の関わりについて、より多くの方にご報告することが、当社の果たすべきCSR(企業の社会的責任)であると考えています。2003年から環境報告書として、また2008年からはCSR報告書として毎年発行し、テーマごとに取り組み内容をご報告してきました。

本報告書では食品を製造しお届けする立場から、お客様の関心の高い「食の安全」を中心に具体的な取り組みについて報告しています。

### ●報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

### ●報告対象期間

2015年1月～2015年12月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

### ●発行年月

2016年7月

## 企業理念

### 社是

愛と誠心と感謝をこめて お客様に愛される不二家になります

### 経営理念

常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する

## トップメッセージ

### 「食の安全を中心とした取り組みについて」

不二家は、「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様、ご家族に、おいしさ・楽しさ・満足を提供する」という経営理念のもと、事業活動を通じて社会に貢献し、社会と当社が持続的に発展していくことを目指しています。

そして、1910年の創業以来、100年を超える年月を、常にお客様とともに歩んでまいりました。企業としてお客様に対して果たすべき責任のうち、何よりも重要なことは、お客様が安心して召し上がっていただける、安全な商品を提供することです。不二家は、不良品撲滅を目指し「クレームゼロ運動」として、数々の取り組みをしております。不良品をゼロにするということは、たやすいことではありません。一見不可能なことにも思えます。しかし、ゼロを目指してこそ、徹底的、根本的な解決が得られると私たちは考えています。

また、不二家は地域・社会とともに歩んでまいりました。工場や店舗は、ペコちゃんを始めとした数々の交流を通じて、その地域で無くてはならない存在でありたいと考えています。

不二家にとって、そこで働く人材は、まさに会社の根幹です。労働災害の撲滅、働く環境の改善には、特に力を入れてきました。また着実に成果も上がっております。

そして、株主の皆様には、成果をもって還元することが企業としての務めであることは言うまでもありません。

ここに記されている内容は、不二家の社会に対して果たすべき事柄です。その取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。



代表取締役会長  
山田 憲典

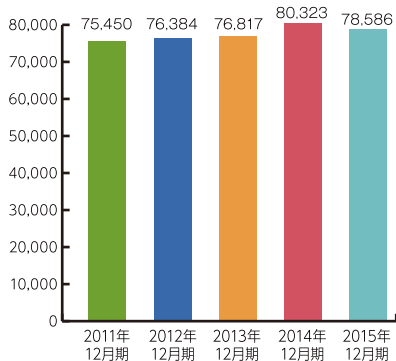


代表取締役社長  
櫻井 康文

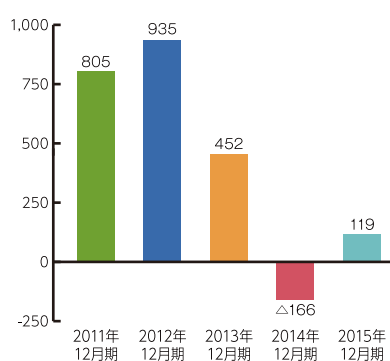
# 会社概要 (2015年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,094名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン 株式会社不二家東北、株式会社スイートガーデン、不二家サンヨー株式会社、不二家乳業株式会社 不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター、不二家テクノ株式会社 B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社、日本食材株式会社
営業部・支店	東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	東京、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国の主要地
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、 泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

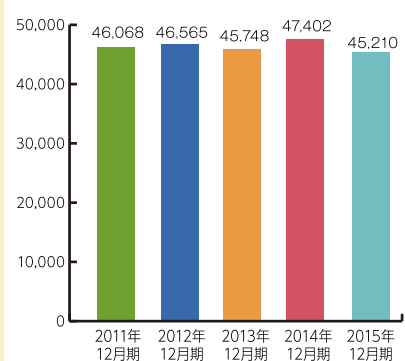
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



単体総資産(単位:百万円)



## 事業内容

### 洋菓子事業

ケーキ、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営



### 菓子事業

チョコレート、キャンディ、クッキーなど菓子の製造販売



### 食品事業

飲料及び乳製品など食品の製造販売



※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。  
不二家ウェブサイトURL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

## その他事業

業務内容：通販・キャラクター事業および不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

# お客様とともに

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質のうえに成り立っていると考えます。商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。

## 食の安全への取り組み

### 品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めクレームゼロを目指しています。

第一に、AIBやISO9001といった科学的根拠に立脚した食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。本年度は、食品安全衛生の重要性について全従業員の末端まで確実に浸透させるため、「従業員教育」の再徹底を実施します。

さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

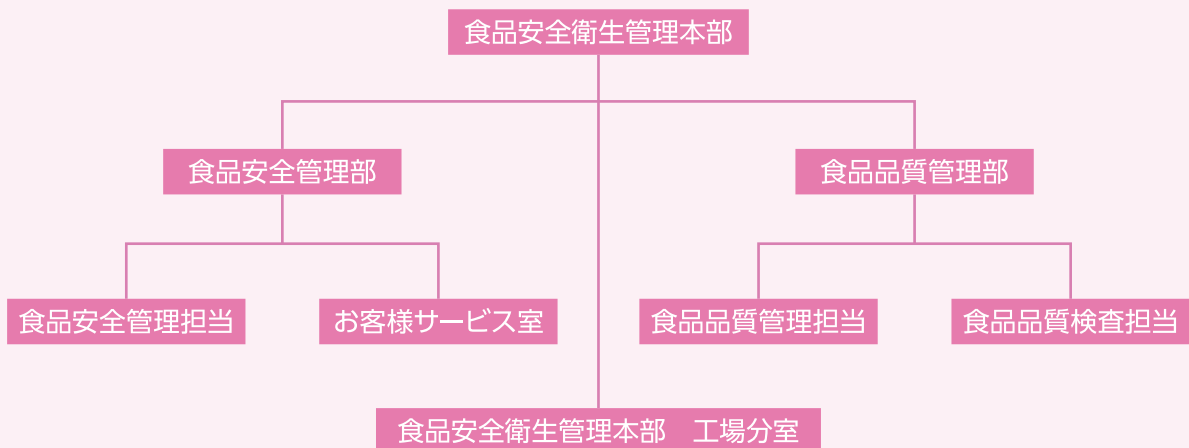
食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」と「食品品質管理部」の2部門体制のもと、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



食品衛生教育の様子

### 食品安全衛生管理本部組織図

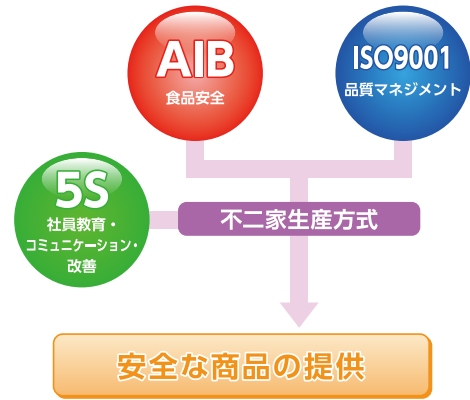


## ■ クレームゼロを目指す取り組み不二家生産方式

不二家ではクレームゼロを目指すために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB 国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②お客様満足の向上と製品・サービスの品質の維持・向上のための品質マネジメントシステムである「ISO9001:2008」の運用
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、1つの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、クレームゼロを目指し、食品安全の維持・向上に努めています。



## ■ 不二家におけるAIB(American Institute of Baking) フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子5工場、菓子3工場のすべての工場でAIBフードセーフティへの取り組みを始めました。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」には、原材料の入荷から製品の出荷まで安全性を確保するために下記の5つのカテゴリーで構成されています。

### ①作業方法と従業員規範

製品が従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐ方法を示しています。

### ②食品安全のためのメンテナンス

施設や設備が衛生上、および食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。

### ③清掃活動

製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。

### ④総合的有害生物管理

有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理する方策を示しています。

### ⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性

前提条件プログラムを施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリーで守る事項が詳細に決められており、合わせると約100項目になります。AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価されます。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリーが各200点の配点を持ち、総合評価として1000点満点で採点されます。

不二家ではこの外部専門機関によるAIB監査を受け、全ての工場で合格点を獲得しました。現在も「AIB国際検査統合基準」に則り、各工場において各部門の代表者から構成される自主検査チームを結成し、月1回、全ての製造設備に対して「AIB国際検査統合基準」に適合しているかの確認のため自主検査を実施しています。そこで不適合な箇所を抽出し、必要な改善措置を計画的に進めています。改善措置については、月1回実施している「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認を行い、常にシステムの維持向上に努めています。

さらに、AIB活動のレベルアップのために、毎年、菓子製造工場の秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、洋菓子製造工場の埼玉工場、野木工場、泉佐野工場で外部専門機関によるAIB指導監査を受けています。昨年はAIB本監査を受け、全ての工場が合格し、優秀な総合評価を得る事ができました。また、AIBではフードディフェンス(食品への意図的な異物混入の防止)の考え方があり、

各工場に品質保証カメラを設置するなど強化対策を進めました。

また、2014年弊社子会社が運営する不二家フードサービス古河東本町店において、スポンジ生地の在庫管理が適切でなかったことにより「ショートケーキS」のスポンジ生地の一部にカビを発生させてしまいました。この件を受け、不二家フードサービス全店について不二家食品安全衛生管理本部巡回チームによる監査点検を行うとともに外部専門機関によるAIB監査を受けました。両者の結果に基づき店舗の衛生改善を進めました。

今後もお客様へ安全な商品をお届けするよう、AIBフードセーフティを継続的に取り組んでいきます。



AIB指導監査(不二家レストラン大和つきみ野店)

不二家は、2005年よりISO9001品質マネジメントシステムを導入し<sup>※1</sup>、2006年6月に外部審査機関による審査を受け認証を取得しました。現在も、お客様に向けて常に安全な商品、品質の良い商品とサービスをお届けするため、品質方針・改善目標を掲げ、その遵守と達成に向けて、問題発見と改善活動を継続しています。

年2回実施される内部監査では、製造現場を中心に各部門から選抜された監査員が各現場に赴き、お客様満足を第一に考える観点から、改善活動の進め方や作業手順などの確認を行っています。さらに、これらの活動を学ぶ機会としてもとらえ、各職場のリーダー、若手社員、パートナー社員を含めた食に関わる全員の意識と技術の向上を図っています。

また、品質マネジメントシステムに関する活動の情報交換の場として、社長・各部門長出席のもとQMS会議<sup>※2</sup>を毎月開催しています。QMS会議では、現場の取組みだけでなく、お客様からのご意見、ご要望も報告され、商品開発、製造現場の改善に活かされています。

今後も、食の安全・安心とお客様満足の向上のため、継続的な改善活動を行っていきます。

※1 ISO9001適用範囲(2016年5月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、施設部、購買部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場  
[統括部、広域営業部、食品品質検査担当、安全衛生管理本部洋菓子工場分室は除く]

※2 QMS(Quality Management System)会議

品質管理責任者が、品質マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックするために、毎月1回及び必要に応じて開催する会議

## ISO9001:2008における品質方針

- (1) 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) その為に、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
- (3) 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
- (4) 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
- (5) それらの実現の為に、風通しのよい企業風土作りに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備および教育を実施してまいります。

品質方針の達成のため、各部門の品質目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2007年3月7日  
株式会社 不二家  
代表取締役社長 櫻井 康文

## 内部監査風景



品質目標、改善活動の取り組みについて熱心に議論する様子



製造ラインを監査し、質疑応答する様子

## VOICE

現場では、どうすればより良い品質管理ができるかを話し合い、現場の声から点検表や毎時間のチェック表などを改定します。従業員一人ひとりの「現場力」を高めることが、一番大切だと考えています。9年前、一連の問題で、私たちは、製品を作りたくても作れない辛い経験をしました。二度と同じ経験をしないために、より安全で、安心な製品をお客様に提供できるよう、日々改善に努めています。



平塚工場 チョコレート製造1課 荒木 かおり

## ■本物の5S活動

2009年に工場からスタートした「本物の5S」活動は、これまで、洋菓子直営店舗、本社部門と活動範囲を広げ、さらに2014年からは営業支店を巻き込み、全員参加の活動として推進してきました。工場では、「安全で、生きがい、やりがいの持てる職場づくり」に取り組み、洋菓子店舗では、「お客様に愛されるお店作り」を目指して、働く人全員がチームに参加して活動を進めてきました。

洋菓子工場では、職場や作業に隠れたムダを積極的に見つけ出して快善(※)する取り組みを実施することで成果を生み出しています。菓子工場では、工場の経営目標を、管理職が各職場に合わせた課題の設定及び進捗管理する活動と、職場ごとに5Sチームを組織し、管理職が設定した課題の解決に向かって具体的に取り組むという両面から実施し、工場一丸となった活動を行っております。洋菓子直営店では、(整理・整頓・清掃・清潔・躰)といった基本的な取り組みを進める中で、お客様に何ができるか、一人ひとり主体的に考え行動することで、お客様に気持ち良くご来店していただける店舗作り、職場作りに取り組んでいます。

今後も5S活動を通して、よりお客様の笑顔のために何ができるかを各部門、職場のチームで取り組んでいきます。

※快善……従業員が生きがいを持って仕事ができる職場を目指すことから、この漢字表記を使用しています。



富士裾野工場 5S巡回の様子

## VOICE

5S活動導入後、考える力、気づく力、工夫する力が養われ作業に活かされています。

作業中にパートナーたちの会話の中から生まれる小さな快善がとても多いことが特徴ですが、見つけた快善内容を試行錯誤しながらより良く快善できていることは大きな進歩だと感じています。出てきている声を大切に、快善内容の継続を手助けできる事務局を目指していきたいです。



泉佐野工場 生産課 上西 珠恵

5S活動を始めてから、今までの店作り、お客様との会話、仕事のすべてが“お客様目線”に変わりました。効率よく働くための器具の配置を考え、無駄をなくし、従業員にはわかりやすく、お客様には歓迎してお迎えられるようにしています。そして、不二家に来店して良かったと思っていただけるように日々お客様との会話を大切にしています。5S活動を継続していくことで、仕事にやりがいを感じるようになりました。今後も地域に愛される店になるよう精進します。



鳩ヶ谷坂下店 店長 山本 美紀

「異物混入・付着の未然防止」をテーマに5S活動を行いました。まずは「見た目」が綺麗な職場にするため、整理・整頓から始め、そこからクレームにつながるような可能性を考え、お客様にご迷惑をかける前に快善をしようと先回りの活動を進めてきました。

自らの視野を広げて「気付き力」をさらに高め、職場の仲間とコミュニケーションを取りながら、いろいろな意見やアイデアを集めて、今後も5S活動を進めていきます。



富士裾野工場 ビスケット製造課 組長 鈴木 まゆき

## ■防災への取り組み

不二家では、2012年6月に埼玉工場の製造ラインの一部を焼失しました。被害は軽微でしたが、この火災を機に防火・防災体制を見直し、本社と工場において「防災巡回点検」を毎月実施しています。火災につながるリスクを摘み取り、消火栓や消火器などの設備不備がないかを徹底して確認しています。さらに本社や各支店でも避難通路の確保や、身の回りの整理整頓ができているかを毎月巡回しチェックしています。



本社防災巡回点検の様子



## ■「不二家食品安全の日」について

2007年1月、不二家は消費期限切れ原料の使用に端を発して、社会並びに消費者の方々に多大なご迷惑をおかけし、食に対する不安を与えてしまいました。この一連の問題を社内で風化させることなく、全社を挙げて食品安全に対する真摯な取り組みを継続していくため、2008年に、1月11日を「不二家食品安全の日」と定め、毎年1月に本社及び各事業所にて、式典や集会を実施しています。9回目を迎えた2016年の「不二家食品安全の日」の式典は、1月12日(火)に不二家本社にて開催しました。

本年は、2007年当時不二家信頼回復対策会議の議長としてご尽力いただき、現在は郷原総合コンプライアンス法律事務所代表弁護士として幅広く活躍されている郷原信郎先生に、「環境変化への適応としてのコンプライアンスと企業不祥事」についてご講演いただきました。

ご講演は、企業不祥事をめぐる関心が高まっている中での開催となり、2007年の一連の問題の本質的な原因の振り返りと、2015年に発生した企業不祥事を例に、企業を取り巻く環境の変化に対して、我々が取り組んでいかななくてはならないことは何か、についてお話を伺いました。

## VOICE

### 社員の感想(抜粋)

- ・自分の会社をどのように守るのか、近年ネットの拡大でさらに難しくなっている問題だと思います。あらゆる事例から学び、対処の仕方を知る必要を感じました。
- ・今現実と考えられる危険が多く存在すること。それに対応すべき課題が身近にあることを痛感した。日々戦いである。
- ・問題の本質をしっかりと把握する重要性を認識した。環境の変化への適応が工場にとって如何に重要で大切なことなのか、製造に関する記録の作成管理を、新しい世代すべての世代にしっかりと伝えていく。今日再度決意しました。
- ・企業を取り巻く環境は変化し続けている。社会の要請も変化している。それに応えられるよう取り組むことがたいへん重要であると感じました。店舗での営業活動が社会の要請に応えられるよう、自分の役割として、何ができるかを考え、意識をもって取り組んでいきたいと思えます。
- ・コンプライアンス=社会の要請に応えること。個人の業務は、企業における目標達成の一つだけでなく、社会とのつながりとしてあるという認識をもつことが重要であると改めて感じた。自分もそのように行動したい。



# お客様とともに

## ■お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口

## ■お客様からいただいた声

2015年1月から2015年12月の間に、お客様から約20,000件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、約14,380件がお問い合わせ・ご意見であり、約5,620件がご指摘事項でした。

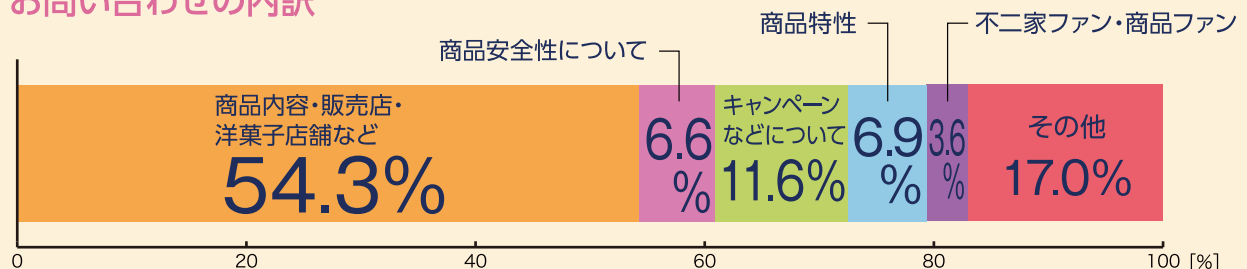
お問い合わせ・ご意見のうち、約54.3%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせであり、約6.6%が商品の安全性(アレルギーなど)に関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多いキャンペーンなどについては、ウェブサイト内の情報ページにて随時公開しています。また、商品特性(成分、カロリー情報など)については、ウェブサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。なお、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を掲載しています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ウェブサイトでは専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力してまいります。

### お問い合わせの内訳



# 地域・社会とともに

## ■ペコちゃんを通じたコミュニケーション活動

2015年7月11日(土)～9月13日(日)、「ペコちゃん展」が平塚市美術館で開催されました。2015年は、1950年にペコちゃんが誕生してから65周年。商品やグッズ、人形、販促資材の展示を通して、昭和から平成の世相とともに、ペコちゃんの歴史を振り返る企画展でした。気鋭の現代アーティストによるペコちゃんをテーマとした作品の展示、東京モード学園の学生さんによる衣裳コンテストの入選作品の紹介など美術館という舞台にふさわしい内容でした。おかげさまで56日間に及ぶ会期を大盛況のうちに終了しました。

会期中は、ペコちゃんと触れ合うイベントやミルクィーを作るワークショップ、グッズを販売するコーナーもあり、工場の製造現場で働く社員の協力で盛り上げました。

現代アーティストの作品は、社内では思いもつかないペコちゃんも登場しました。



ペコちゃん展の様子



ミルクィーを作ろう! の様子

## ■地域とのコミュニケーション活動

不二家では、各事業所の周辺地域の皆様と、さまざまなコミュニケーション活動を実施しています。

2015年8月2日には、神奈川県秦野工場にて、夏休み企業体験学習の一環として「オリジナルカントリーマアム手作り体験と工場見学」というイベントを開催しました。

当イベントは、秦野市こども育成課が、地域産業や仕事の大切さを学ぶこと、子供同士の交流や親子の絆を深めることを目的に主催し、不二家が協力したものです。

多くの応募者の中から抽選の結果、親子11組(22名)が参加されました。カントリーマアムの生地伸ばし方、トッピングの注意点、トレイの並べ方等についての説明のあと、早速親子で挑戦しました。今年は、カブトムシや人の顔など昨年までなかったユニークな形もありました。その後クッキーが焼けるまでの時間を使っての、実際にカントリーマアムが作られている製造現場の見学では、大量にできあがる光景にびっくりしていました。参加者は、ペコちゃんとの交流を通して、食やコミュニケーションの大切さを学ぶなど、充実した時間を過ごしていました。



作り方の説明を熱心に聞く参加者たち



真剣にカントリーマアムを作っている様子



世界に一つしかないカントリーマアムの完成です



ペコちゃんと一緒に記念撮影

## ■ 職場訪問の受け入れ

不二家では、中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れを実施しています。

2015年には、年間で47校を受け入れました。不二家の歴史や企業概要、キャラクター紹介、商品紹介、商品企画のプロセス、商品にまつわるエピソードなどを、プレゼンテーションツールを使用してわかりやすく説明しています。

また、生徒さんからの質問に答えたり、新商品を試食してもらうなどのコミュニケーションを図っています。



記念撮影の様子



職場訪問で説明をしている様子

## ■ ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊

「ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊」は、不二家が2010年に創業100周年を迎えたことを記念して開始しました。ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」に乗って、全国の幼稚園や保育園の児童施設を訪問し、クイズやペコちゃんダンスで園児とペコちゃんと一緒に楽しんでいただけるプログラムです。

2015年は、14府県83カ所の児童施設を訪問し、多くの園児達に喜んでいただきました。



クイズをしている様子

## ■ 東日本大震災被災地への支援

不二家キャラバン隊は、2011年の東日本大震災以降毎年12月に岩手県を訪問し、子供たちとクイズやペコちゃんダンスをするなど、笑顔のクリスマスプレゼントをお届けしています。

2015年は12月8日と9日に岩手県山田町と宮古市の児童施設など5ヶ所を訪問しました。



田老町の仮設保育所訪問の様子

## ■ ペコちゃんキッズアカデミー

「ペコちゃんキッズアカデミー」は、自然と食の大切さを学び、家族の絆を深めることを目的に、2011年よりスタートした、不二家ファミリー文化研究所主催のお客様向けのイベントです。

2015年4月3日、「いちごの里」(栃木県小山市)にて第5回を開催し、12組32名の親子が参加しました。参加された親子は、いちご狩り、いちごのショートケーキ作りをして、ペコちゃんと楽しいひと時を過ごしました。



ペコちゃんと一緒に記念撮影



いちご狩りの様子



ケーキ作りの様子

## ■ 第9回銀座柳まつり

「銀座柳まつり」は、「ふれあい」をテーマに、銀座にお越しのお客様に、銀座らしいおもてなしとコミュニケーションを感じていただく、パレードとイベントで構成されるお祭りです。

2015年5月5日こどもの日に、第9回が開催され、ペコちゃんも人力車に乗ってパレードに参加したり、レトロ遊び広場でファンの皆様と触れ合いました。

銀座でもペコちゃんは大人気!大勢の方々と楽しい時間を過ごしました。



人力車に乗ってパレードに参加

## ■ 元町ハロウィン

「元町ハロウィン」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフが、色々な仮装でお子様を出迎え、店頭でお菓子を配る手作り感あふれるイベントです。最近では、仮装して参加される家族も増え、年々盛大になっています。

ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の一つです。

不二家は、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの趣旨に賛同したこと、また、不二家にとって横浜元町は、1910年(明治43年)に初めて洋菓子店を開いた「発祥の地」であることから、2007年よりペコちゃん、ポコちゃんによるオリジナルハロウィン衣裳での参加やお菓子の提供などで協賛し、元町にいらしている方々との交流を深めています。



元町ハロウィンでペコちゃん、ポコちゃんと記念撮影



元町ショッピングストリートを練り歩くペコちゃんとポコちゃん

### 【不二家ファミリー文化研究所とは】

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井康文が兼務しています。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとって、いうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして、「ファミリーの不二家」という理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

### 【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。

### 【ウェブサイト「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げています。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



## ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

### ●親子イベントなどの公募

「食育」「自然」「家族の絆」などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

### ●「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族の絆を感じる出来事、笑顔になる家族とのエピソード、家族に起こった面白いハプニングなどを、川柳で募集しています。

### ●世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

### ●アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

このほかにも、パソコンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。



# 株主・投資家の皆様とともに

## IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

### IR情報

#### ●ウェブサイト

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



#### ●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家ウェブサイトにも報告書を掲載しています。



## 株主優待制度

年1回の権利確定日※現在の株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

※権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様。



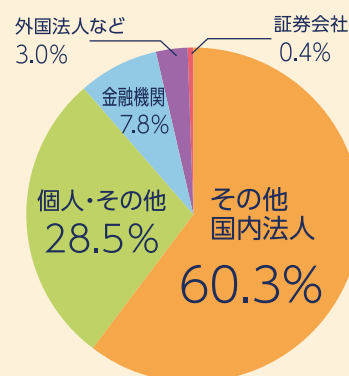
### 株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、不二家チェーン店舗（一部店舗除く）でご利用いただけます。

株主様に当社商品をお試しいただき、ご意見などを承っております。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

### 所有者別株式数



2015年12月31日現在

## 株主様アンケート実施

株主総会に出席された株主の皆様アンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。今後も、株主総会を株主様の声を直接お伺いすることができる大切な機会と捉え、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指してまいります。

# 従業員とともに

## ■人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「従業員がやりがいのある仕事に携わり、夢を実現させるための、仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じるこそが、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することへの近道と考えています。

当社では、社内での世代交代が進む中、人材の即戦力が求められており、若年層、特に新人教育を重視し、OJTをはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラムを実施しています。以前より入社5年目ま



での大学・大院卒社員に対しては、入社年次毎に段階を踏んだ内容のフォローアップ研修を行ってきました。この研修は課題設定力、問題解決能力、コミュニケーション能力とチームワーク力の養成に力点を置いた内容となっており、本人の社会人としてのキャリアデザインの構築や振り返りと再考の機会も設けているので、自ずと自己啓発を促すようになっていきます。これとは別に各年度の研修受講生から選抜したメンバーを集め、入社年次を超えた研修として、フォローアップEX(エクストラ)研修も行っています。また現場でのマネジメント力、リーダーシップ力の強化を目的に、高校卒業の新卒社員にも2014年よりフォローアップ研修を始めました。以上のように若年層から一層のきめ細かなフォローすることにより、人材の育成に努めています。今後は、管理職の若年齢化も進んでいることもあり将来会社の中堅管理職への研修もさらに充実させていく予定です。





## ■ 社内公募制度

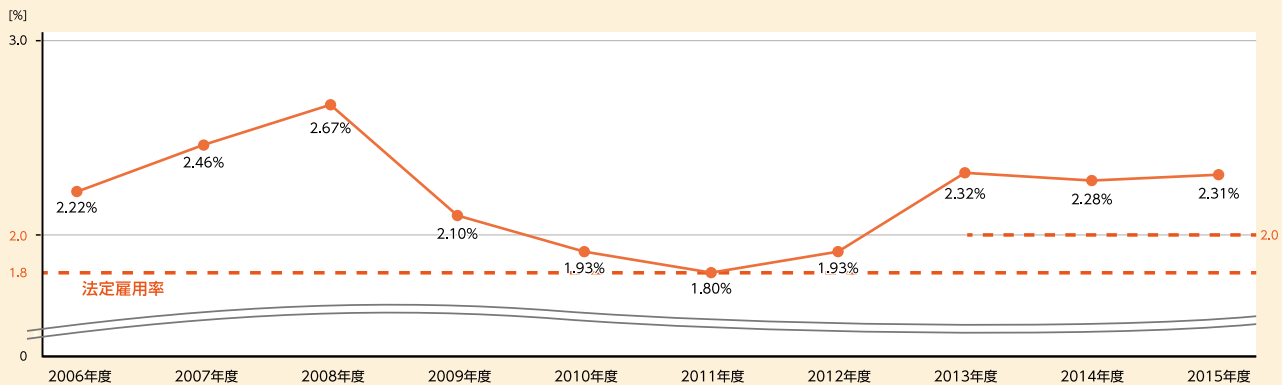
個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度「社内公募制度」を導入しています。社員主体による配置転換の自由度を高めることによって、人材流動化促進、スキルや意欲のミスマッチ解消、適材適所を実現し、社員が最も力を発揮できる環境を整えるものです。

不二家における社内公募制は、「社内求人型」です。会社が必要とするポストや職種の要件をあらかじめ社内に公開し、応募してきた社員の中から必要な人材を選抜する仕組みです。この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が公募を通して新しいポストに就いています。

## ■ 障がい者雇用

全国の工場を中心に本部事務職等も含め、障がい者雇用に取り組んでいます。2004年以降、2012年までは法定雇用率1.8%に相当する障がい者雇用数を維持してきました。2013年度報告分より法律が改正され、法定雇用率は2.0%となりました。2016年3月末現在の障がい者雇用者数は2.31%相当とその基準を維持しています。今後、身体、知的に加え精神障がい者も算定基準に入り、法定雇用率のアップも予定されていますので、法律の趣旨に沿い、さらに取り組みを強化する必要がありますと考えています。

障がい者雇用率表



## ■ 高齢者雇用

法的、社会的要請の観点からだけでなく、社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、定年退職後、豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。満60歳に達する社員の再雇用の希望の有無や本人の勤務形態、勤務地等の労働条件の希望も考慮の上、本人が有するスキルに合致すると会社が判断した職務を提示して、合意の場合に継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2016年3月15日現在、131名が再雇用者として在籍しています。

## ■ 育児と介護を支援

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児介護を支援する制度を設けています。不二家での2015年度育児休業者は30名(うちパートナー社員5名)、短時間勤務制度利用者は22名でした。男性の育児休暇取得者は2名でした。時差勤務制度も導入しており、今後も制度利用を促進するために様々な施策を講じていきます。

## ■ 労使協力関係

管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催して、経営側と組合側とが諸問題について忌憚のない意見交換を行っています。これにより、経営上の課題改善や、人事労務関係の諸施策導入など、迅速な問題解決につながっています。

## 労働安全衛生

不二家は、お客様に安全な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、全従業員が安心して働くことのできる職場環境作りが不可欠である、と考えています。そのために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

労働安全に対して経営トップから強い意志が示され、全社的な労働安全方針の策定や安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と全国の工場、営業所・支店、また直営店舗（エリア毎）の「労働安全衛生委員会」を組織しています。近年は、法律改正や社会情勢の変化にも対応するため、現場での問題解決だけでなく、他事業所での軽微な災害も含めた労災の情報共有と対策の水平展開の検討を行っています。また、時間外労働の原因の分析と必要な場合は発生の予防策の検討、有機溶剤の管理、車両を使う事業所では社有車の安全管理の徹底、また防災面での職場での状況チェックと管理の徹底等、委員会の機能を十分に活用するよう取り組んでいます。労働組合も含めた中央労働安全衛生委員会メンバーによる年に1回の全国の工場巡回も継続して行っており、設備等職場環境だけでなく、厚生施設、構内の道路のチェックも行う等、危険箇所の抽出とリスクレベルの設定と対策をしています。そして同時に本質安全化の検討をすすめ、危険の除去だけでなく、働きがいのある快適な職場作りの確立を進めています。それら対策の結果、労働災害（※）の発生件数は2010年度39件、2011年度20件、2012年度12件、2013年度7件、2014年2件と2015年3件と減少傾向にあります。※不二家の社内基準による。

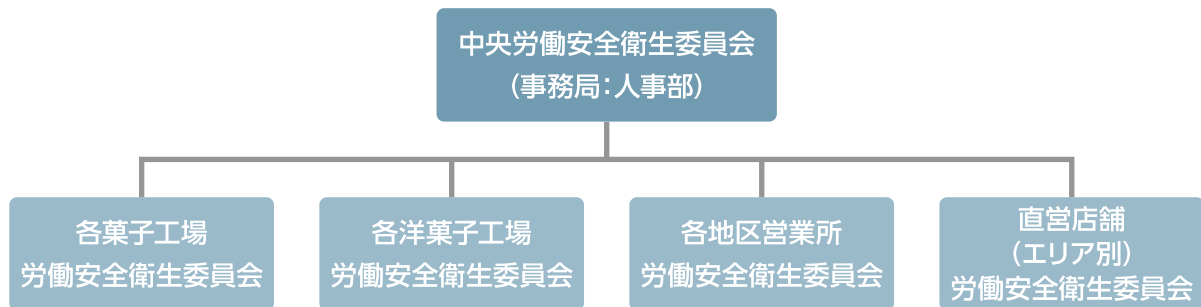
車両事故災害については、件数ゼロを目標に事故を3段階にレベル分けして連絡体制をとっています。また、従来の労働安全衛生委員会とさらに細分化した事業所単位での安全委員会を開催して、注意喚起をはかり、車両事故撲滅の取り組みを進めています。

### ●不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、  
社員の安全と健康の確保を第一とし、  
働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートナー社員など臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。

2015年 不二家労働安全衛生スローガン  
「安全第一「愛」」で防ごう労働災害



労働災害防止のための工場巡回時に撮影

### 担当者の声



埼玉工場 総務・人事課 課長 橘 泰生

製造工場では、お客様にお届けする製品の品質「食品安全衛生」はもとより、心身ともに健康な状態で就業できる職場環境づくりが欠かせません。「ケガをしない!」を掛け声に、職場巡回、安全日誌（ヒヤリハット）をもとに、「労働安全衛生委員会」での決定事項を、「責任・義務」として明確化して全従業員に教育・指導し、「労災0」を目指しています。

## 社内情報の共有

不二家は、部内横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!! (ウィークリースウィート!!)」は、社内イントラネットに掲載。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週発信しています。新商品や新店舗、工場やエリアごとの取り組みやイベントなど、さまざまな情報を紹介しています。



「WEEKLY Sweeeet !!」



「Sweeeet!!」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!! (スウィート!!)」は、「今の不二家をみる! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営者からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報、従業員の趣味や意外な一面を紹介するコーナーなどバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



社内報小委員会のミーティングの様子

### 担当者の声



菓子事業本部 営業本部 営業推進部  
元尾 千束

「Sweeeet!!」は、様々な部署から選ばれた若手社員で、ページの企画、取材、編集を行っています。特集や連載内容を検討する際は、経営トップからの情報発信、従業員の声、社内情報をバランスよく紹介するよう心がけています。また、社員間の情報共有ツールとしても活用できるよう、雑誌風の「読みたくなる」誌面作りを目指しています。

多様な部署の社員が協力して編集することは、業務上は関わりが少ない部署の社員間のコミュニケーション活発化、編集者自身の調整・編集スキルの向上も目的としています。今後も「読んで楽しい、ためになる」社内報作りに取り組みます。

# 環境活動

不二家は、省資源、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供しようと考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

## 環境方針

### 【環境方針について】

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」に基づいて、従業員一人ひとりが不二家の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指してまいります。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進してまいります。

### 〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

### 〈環境基本方針〉

1. 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定などの厳守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
4. 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組めます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

## 環境マネジメント

### 【環境マネジメント体制】

不二家では、環境方針を軸にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、ISO14001認証取得工場以外でも「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目的・目標の達成のための取り組みとパフォーマンス達成状況や環境関連法規を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の技術や環境情報を共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的に行い、目標や課題への具体的な解決策を検討し、改善への行動に結び付ける環境マネジメントを推進しています。



### ■環境報告対象範囲

環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動している5工場（秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場）のデータを収集・記載しています。

### 5工場のISO14001認証取得年月と環境負荷データ集計対象範囲

	ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場												
		2003年 (4月~3月)	2004年 (4月~3月)	2005年 (4月~3月)	2006年 (4月~3月)	2007年 (4月~3月)	2008年 (4月~3月)	2009年 (4月~3月)	2010年 (4月~3月)	2011年 (1月~12月)	2012年 (1月~12月)	2013年 (1月~12月)	2014年 (1月~12月)	2015年 (1月~12月)
菓 子	秦野工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
洋 菓 子	野木工場	2003年 4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## ■内部環境監査・研修

ISO14001 認証取得工場ではISO14001:2004規格の規定に基づき、不二家の内部環境監査員資格をもった監査員が、各工場毎に相互に連携して内部環境監査を行い、環境マネジメントシステムが適切に実施、維持されていることを確認しています。

内部環境監査の結果は経営層に報告し、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。今後は、2015年9月に改訂発行されたISO14001:2015規格に対応した内部環境監査が実施できるよう、計画的に監査員の研修を行ってまいります。

## ■環境教育・緊急事態訓練

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識の向上、適切な知識が欠かせません。ISO14001 認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。また、各事業所では、災害・事故などによる環境汚染の防止及び緩和を図るため、対応の手順を定めるとともに、緊急事態を想定した訓練・テストを定期的を実施しています。

### ISO14001 認証審査



ISO14001 認証審査の様子(野木工場)

### 担当者の声



野木工場 総務人事課  
係長 上田 賢司

2016年3月にISO14001認証審査を受けて、基本に戻って事業所全体を整理整頓することの必要性をわかりやすく指摘をしていただきました。中でも環境目標の評価方法について、事業所で環境業務を行うだけでは、発想できない考え方を示していただきました。環境業務との一体感を得る為に、規格を踏まえようと、よりシンプルな発想が可能ではないかと考える事ができました。日常業務に溶け込んだ環境活動を目指し、経営の一助となるように進めて行きます。



緊急事態訓練の様子(富士裾野工場)



緊急事態訓練の様子(秦野工場)

### 担当者の声

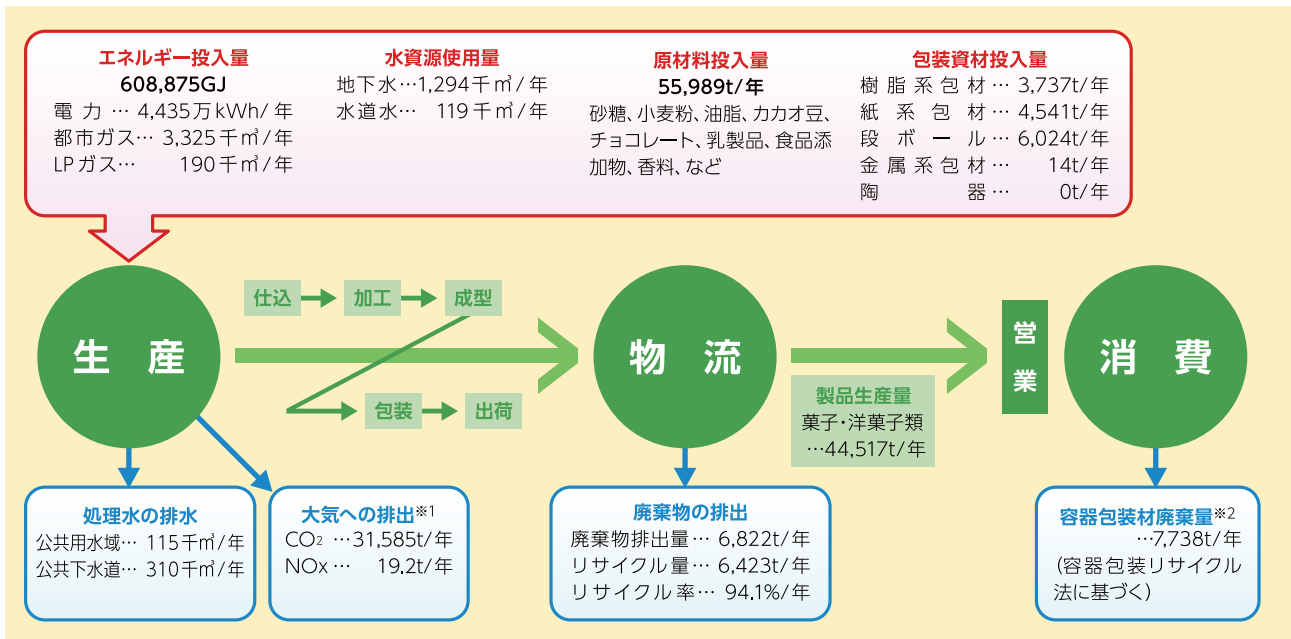


秦野工場 総務人事課  
杉山 貴晃

秦野工場では、環境方針の基本理念として「地球にやさしい事業活動」をモットーに、エネルギー・廃棄物削減の取り組みを行っています。省エネ設備の導入やお菓子の製造過程における廃棄物発生の原因を追究するとともに、食品廃棄物削減の対策を行っています。また、緊急時の機械油漏洩など、環境に負荷を与える事態へ備えた訓練も行っています。これらの環境管理活動を通じて、工場の環境影響・環境活動の目的および重要性を認識することができています。今後も、環境負荷低減の取り組みを進め、地球にやさしい菓子工場を目指してまいります。

# 事業活動のマテリアルバランス

2015年度5工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場)のマテリアルバランス(2015年1月~2015年12月)



※1:投入されたエネルギーについてCO<sub>2</sub>を算出しています。

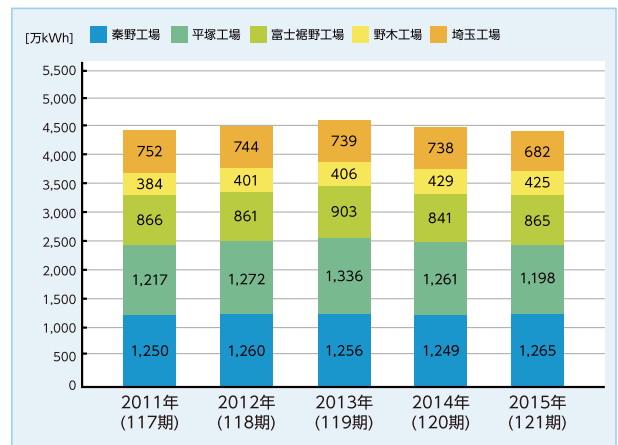
※2:容器包装材廃棄量は、不二家全体(飲料を除く)の2014年度実績になります。

## 省資源・省エネルギーへの取り組み

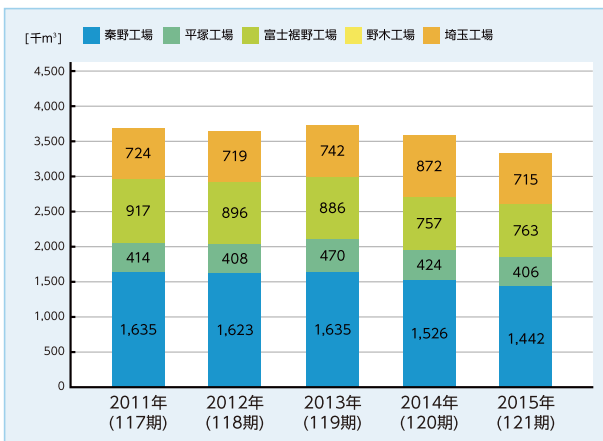
### 【エネルギー使用量の推移】

不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入、運転の合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。今後も、設備の整理統合や新技術の導入検討などエネルギー使用量の削減や合理化に積極的に取り組んでいきます。

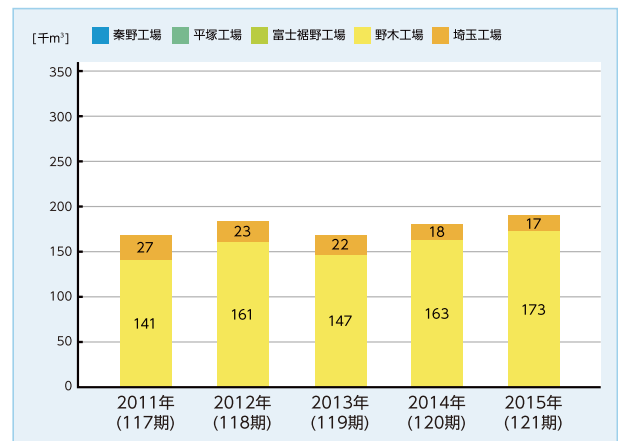
2015年度のエネルギー使用量として、2014年度と比較して電力の使用量は1.8%の減少、都市ガスの使用量は7.1%の減少となっています。主な要因は前年と比較し生産量の減少に伴うエネルギーの減少によるものです。LPガスの使用量は4.8%の増加となっています。その要因は、野木工場において新製品の導入によりLPガスを使用した製造工程が増加したことによるものです。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPガス使用量推移

## ■ 低炭素社会の実現

### 地球温暖化防止への取り組み

#### 【CO<sub>2</sub>排出量削減対策】

不二家の各工場では、CO<sub>2</sub>の排出量削減対策として、冷凍・冷蔵機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

平塚工場では2015年度に地下冷凍機への電力供給を行っているキュービクル(※) および変電所の高圧トランスを統廃合し、変電所内の安全対策(老朽・漏水による事故の防止)を図ると共に大幅な省エネ対策を行うことで、年間34.1tのCO<sub>2</sub>排出削減を実現しました。また、秦野工場では設備の効率的な運転、環境負荷の低減を実現するためにコンプレッサーを最新型に更新することで年間27.5tのCO<sub>2</sub>排出削減を実現しました。

※キュービクル … 高圧受電設備



統廃合した高圧機(平塚工場)



更新したコンプレッサー(秦野工場)

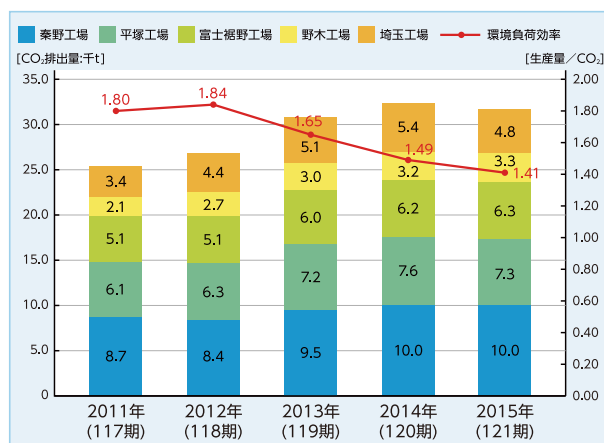
#### 【節電対策】

不二家の各工場では、蛍光灯などの照明を従来の蛍光灯と比較して48%省エネタイプのLEDへ順次交換を進め、電力削減を図る取り組みを行っています。

また、本社における夏季の節電対策については、「クールビズ」の取り組みや、19時のフロアー斉消灯を行っています。さらに、毎週水曜日には「ノー残業デー」を実施し、各人が「仕事の内容」を見直すとともに、「ワークライフバランス」(人生を充実させる働き方・生き方の追求、社員の仕事と生活の調和)の推進に努めています。



更新したLED照明(秦野工場)



工場におけるCO<sub>2</sub>排出量と環境負荷効率の推移

# 環境保全活動

## 循環型社会の実現

### 環境に配慮した商品設計

#### 【包装材料の削減・軽量化】

製品の容器や包装については、製品をおいしく安全にお客様にお届けする品質保持の役割と、省資源や廃棄時の環境負荷低減という環境配慮の両面から取り組みを進めています。2014年からカントリーマアムの個包装サイズを見直し、2015年からはホームパイでも個包装サイズの見直しを行いました。カントリーマアムでは寸法を1mm短くすることで、年間約12トン、ホームパイでは2mm短くすることで、年間約11トンのプラスチックを削減することができました。



この長さを  
1mm  
短くしました

年間12トンのプラスチックの削減

#### 【エコプロダグツ2015に出展】

2015年12月に東京ビックサイトにて開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダグツ2015」(主催: 社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社)に、昨年同様、山崎製パン株式会社のグループ企業として出展し、地域特産物を利用した商品の紹介や容器包装軽量化の取り組みを来場者の方々に紹介しました。



取り組みの説明をする様子



地域特産物を利用した商品・容器包装軽量化の展示

## リサイクルの取り組み

### 【食品廃棄物リサイクルの取り組み】

工場では廃棄物の発生抑制に努めるとともに、製造過程から排出される食品廃棄物を、飼料化などのさまざまな施策を実行することにより、食品廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。また、昨今の食品廃棄物管理の問題(食品ロスの横流し、転売)に対し不二家では、不正に転売させないための廃棄方法を徹底しています。製品の状態での廃棄はしないように廃棄時には袋に穴をあける、潰す、包装フィルムを破くといった方法や、委託している外部業者(中間・最終処分業者)などへ定期的に赴き、廃棄物の処理状況の確認を行っています。



処理施設の現地確認の様子



## ■各事業所における環境保全活動

### 【社会貢献活動】

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、生物多様性の保全や環境美化活動に積極的に参加し、企業としての社会的責任を果たしています。

### 【富士裾野工場のアマゴの放流活動、親子水生生物調査への参加】

富士裾野工場では、「狩野川水系水質保全協議会」が主催するアマゴの放流活動や、裾野市の黄瀬川にて行われた親子水生生物調査に継続的に参加しています。



アマゴの放流(富士裾野工場)



親子水生生物調査(富士裾野工場)

### その他工場の 地域社会への取り組み

- チューリップ球根の植栽活動
- 不法投棄撲滅活動
- 工場見学の受入
- ノーマイカーデー実施

### 【泉佐野工場のクリーングリーン活動への参加】

泉佐野工場では、「食品コンビナート協会」主催の清掃活動である「クリーングリーン」に年間2回参加しています。各企業から約100名が参加し海の周辺や道路を清掃しています。



クリーングリーン活動(泉佐野工場)

### 【野木工場の地域清掃活動への参加】

野木工場では、定期的に地域貢献活動の一環として、「野木町工業団地協力会」主催の清掃活動に参加しています。2015年は6月と11月の年間2回参加して清掃を実施しました。



地域の清掃活動(野木工場)

クリーングリーンとは、企業の社会貢献活動を社員のボランティア活動に発展させたものです。クリーン活動とは、単なる清掃活動ではなく「心のクリーン」すなわち自ら進んで行う社会奉仕活動のことです。また、グリーン活動は植樹活動を含め、自然環境の保全といった幅広いとらえ方です。

### 【秦野工場の環境の取り組みを紹介】 — 秦野名水シンポジウムで事例発表 —



2015年8月に秦野市制60周年記念事業、名水百選選定30周年事業として開催された秦野名水シンポジウムにおいて、伊藤秦野工場長が秦野工場の活動事例「地下水の節水と還元」について紹介しました。

## ■ トラスト活動(不二家ファミリー文化研究所)

### 【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏)」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻し、2012年5月には、整備活動始めて以来初の植樹を実施しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生ずるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子を、ウェブサイト内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

### 【従業員による森林整備活動の実施】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議/工場様のご協力のもと、従業員有志による「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2015年は、7月に「刈り払い作業(=苗木の成長を妨げる雑草などを切り払う作業)」と2014年に植樹した苗木が今現在何本残っているかの確認を行いました。所長である社長の櫻井を含む不二家従業員有志参加者28名は、水分補給をしながら作業にあたりました。当初植樹した250本の苗木は3年が経過して、積雪や虫害で折れたり、枯れたりしてしまった木もありましたが、78本が残り元気に成長していました。苗木が成長して森になるまでには、数十年を要します。私たちは変化していく森の様子を肌で直接感じ、森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高めながら、今後も整備活動を続けていきます。



説明に熱心に耳を傾ける初参加者



刈り取った後、苗木本数の確認



整備後の集合写真

「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2014年7月  
<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

## VOICE

草の刈られる音、風になびく森の息づかい、虫の声、自然溢れるペコ森で大好きな自然を大満喫してきました。生い茂る雑草を刈り進めると、力強く根をはる苗木がお目見えします。大量の汗をかき、振り下ろし続ける腕、疲れる作業かもしれません。しかし、少しずつ見えてくる若い苗木を見つけるたびに、疲れを忘れてしまいます。また、普段の業務とは全く違うことを他部署の方々と共にできることの楽しさ。今回、初めて「ペコちゃんの森」の森林整備に参加させていただきましたが、参加できてとても良かったです。

洋菓子事業本部 営業本部 管理業務部 富澤 英明



# 経営マネジメント

不二家は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。健全な企業経営を行い、持続的に企業価値向上を高めていくために、実効性のある業務執行とその監督体制を作り上げるとともに、従業員一人ひとりのコンプライアンス意識向上を図りながら企業活動を行っています。

## コーポレートガバナンスと内部統制

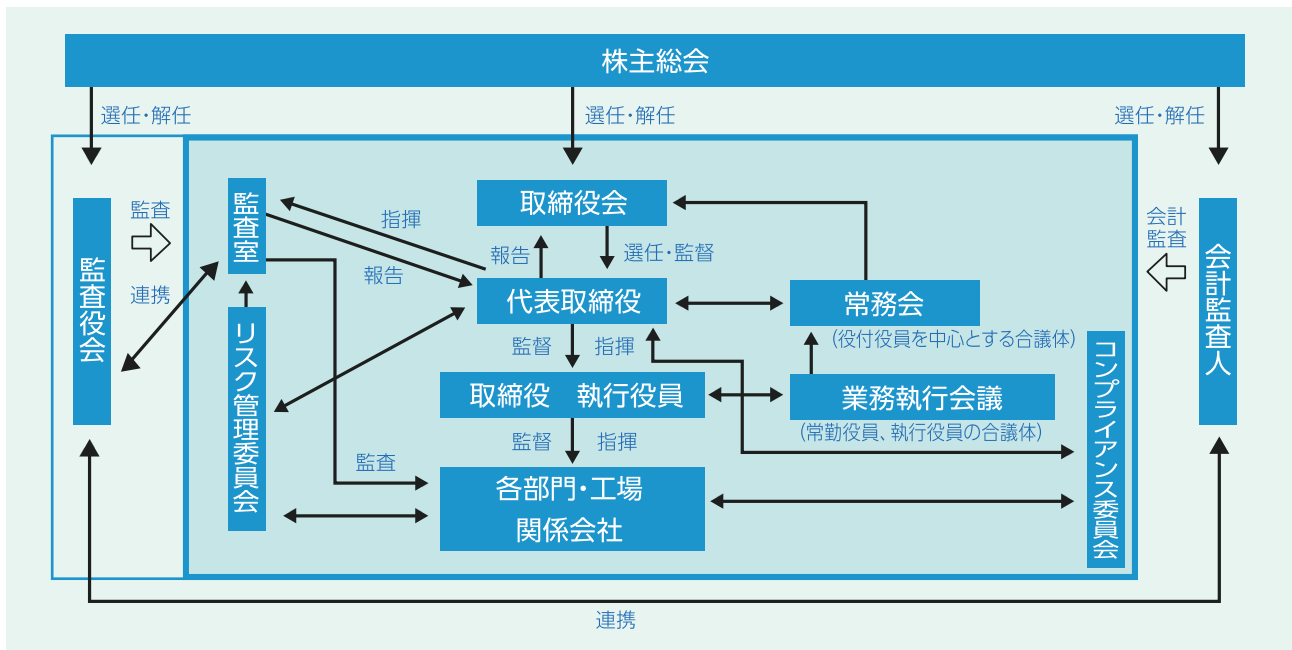
### ■コーポレートガバナンス

不二家は、企業理念を着実に実現する企業として、経営の健全性(コンプライアンス)・透明性(ディスクロージャー)の原則を守り、継続的に企業価値を向上させ、全てのステークホルダーから満足いただける魅力的な企業の実現を目指しています。

業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制を構築しています。

「取締役会」を経営意思の最高決定機関として位置づけ、主要取締役による「常務会」と、取締役に加え執行役員も出席する「業務執行会議」を、毎月2回を基本に開催しています。これによりガバナンス強化とともに意思決定及び業務執行の迅速化を図っています。

また、関係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と関係会社社長との協議機関として、関係会社経営報告会(社長会)を設置し、関係会社への監督・支援を実行しています。



### ■2015年度内部統制システムの整備・運用状況

当社は、企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定および随時見直しをはかり、内部統制の整備・運用を行っています。

2015年5月1日に「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)及び「会社法施行規則等の一部を改正する省令」(平成27年法務省令第6号)が施行されたことに伴い、2015年7月29日開催の取締役会において「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定を決議し、改定いたしました。それに基づき、企業集団の業務の適正を確保するため、グループ会社すべての会社に派生するリスクに対して、今まで以上にあらゆる可能性を認識し対応できるよう体制を強化し、内部統制システムを運用しております。

また財務報告に係る内部統制についても、内部統制の基本的枠組みに準拠して整備運用しておりますが、財務報告への影響を勘案し、重要な虚偽記載の発生可能性がある事象に関しては個別に対応しております。

2015年度におきましては、再度システムを見直し、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定し、その中で自己点検や独立的评价を適正に実施しました。

今後も、業務の適正を確保するために、あらゆるリスクを想定し体制をさらに高めることにより、内部統制の有効性を確保し企業としての社会的責任を果たしてまいります。

# コンプライアンス・情報セキュリティ

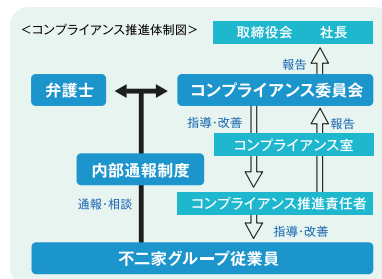
不二家はコンプライアンスを経営の基礎であり、かつ重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどまらず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

## ■ コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役会に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



## ■ 2015年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置づけ、コンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2015年度の教育は、従業員のコンプライアンス意識の維持・向上と食品安全衛生の最新情報の共有によるレベルアップを目的に、5月から10月にかけて各事業所で実施しました。

教育の中では、パワーハラスメントなどの人権侵害行為や会社としてリスクが高い項目（個人情報管理、ソーシャルネットワークシステム（SNS）の利用）について、注意喚起しました。さらに、直近の食品安全に関わる社内外の様々な事例を紹介し、食品企業に従事する従業員が取り組むべき安全について、情報共有を図り、従業員一人ひとりの意識向上を図りました。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。

## ■ 内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規定・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員に企業理念や連絡先が入ったコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、通報や相談がしやすい環境作りにも努めています。

## ■ 情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

# リスクマネジメント

## ■ リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB (American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害（環境）リスク」などに対して、事前にリスクを特定・分類・分析・評価、及び、適切な対応を行うために「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点14ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しています。

# 不二家のあゆみ

## 創業の精神

横浜開港後の山下町に外国人居留地が、山手に山手居留地がそれぞれ設けられ、両地区を結ぶ場所にあった元町通りには、当時は日本には珍しい喫茶店やベーカリー、洋服店、洋風家具店などが軒を連ね、文明開化を支えました。

そんな新しい文化を、いち早く吸収してきた街、横浜元町で創業したのが不二家です。当時ではとてもモダンなローマ字「FUJIYA」の看板を掲げ、1910年に創業した不二家は、「進取の気鋭」で栄えてきました。

不二家の作った菓子は、居留者の外国人にとっては『懐かしい母国の味』、横浜に住むマダムにとっては『珍しくて新しい文明開化の味』でした。不二家の商品や喫茶を楽しむ時間は、彼女たちの至福の時間でした。

不二家は、ただ単に食料を売っていたのではなく、海外の菓子や喫茶を通して、「心の豊かさ、笑顔の生まれる時間」を提供していたのです。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルクィ発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
<p><b>ミルクィがヒット</b></p> <p>1951年、水飴と練乳、この二つの製菓材料を使用し、洋菓子製造で得た乳の知識を生かしてようやく完成させた新しい味が「ミルクィ」でした。練乳を50%近く使い、思い切ってまるやかな味を出した、全く新しいおいしさ、豊富な栄養、廉価という3拍子が揃った当時としては信じられないほど贅沢で新しいお菓子でした。この商品は「ミルクィ」と名づけられ、洋菓子店で販売するや否や、たちまち話題になりました。当時から、洋菓子店店頭に飾られ人気を得ていた「ペコちゃん」をパッケージに使ったことも功を奏し、大ヒット商品となりました。創業者の藤井林右衛門は、多くの子供たちに、おいしくて栄養のある菓子を届けたいという想いから設備を整え、1952年から一般流通への卸売(全国発売)を始めました。「ミルクィ」は洋菓子屋として創業した不二家が、卸売事業に参入するきっかけになった商品でした。</p>	
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコレート発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売・ホームパイ発売 秦野工場(神奈川県秦野市)・埼玉工場(埼玉県新座市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡野木町)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結(現在は契約解消)



## 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1973年		キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、アイスクリームチェーンに着手
1976年		米国ペプシコ社と合併会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は契約解消)
1978年		株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年		米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコレート発売
1982年	3	仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店
	11	フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現在は契約解消)
	10	株式会社ダロワイヨジャポン設立
1990年	6	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成
	—	アンパンマン商品発売
1992年	—	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6	「ペコちゃんのほっぺ」発売
	11	九州工場(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ウェブサイト開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2	「環境宣言」の制定 /ISO14001 認証取得の取り組み開始
	5	容器包装リサイクル法に対処
	9	ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却
	11	埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換
	12	富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3	カフェテリアプラン制度導入
	4	富士裾野工場 ISO14001 認証取得
	8	埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得
	10	埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止
	11	「不二家 行動規範と行動指針」の制定
	12	野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
	4	野木工場 ISO14001 認証取得
	4	不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という)
	6	大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止
	7	コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定
	7	環境報告書を初めて発行
	8	ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始
	10	埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始
2004年	2	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立
	6	秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足
	10	埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7	個人情報保護基本規程制定
	7	ISO9001 認証取得の取り組み開始
	12	秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化



# 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	1	「品質方針」の制定
	3	泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止
	3	ファミ文研 「めざせ! 食育マイスター」イベント協賛開始
	4	定年退職者再雇用制度開始
	6	ISO9001 認証取得 (菓子事業本部(営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場)、品質保証部、調達部)
	10	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼働開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
2007年	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB フードセーフティの取組開始
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
	5	ISO9001 認証一時保留/ISO9001 認証一時停止
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO <sub>2</sub> 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場) 実施
	11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典
	2	埼玉工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	2	不二家洋菓子店で「生ミルクィー」発売
	3	野木工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成
	6	平塚工場操業50周年記念式典
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	8	カントリーマアムブランドに新コンセプトの「カントリーマアムクリスピー」登場
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24~9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
10	不二家洋菓子店で「ミルクィークリームロール」を発売	



# 不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
	2	富士裾野工場が「食品産業CO <sub>2</sub> 削減大賞」(主催:(株)日本総合研究所 後援:農林水産省) 優良賞を受賞
	4	「本物の5S活動発表大会」開催
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付
		<b>創業100周年記念事業</b>
	8	「ハートフルコンサート2010」に協賛(東京フィルハーモニー交響楽団主催) 「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)
	8	「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式
	8	「ペコちゃんに“モードな服”をプレゼント」コンテスト (モード学園×新宿高島屋×不二家合同企画)
	9~10	「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)
	11	「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場
	11	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)
10	「第2回本物の5S活動発表大会」開催	
11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰	
2011年	1	第4回「不二家食品安全の日」式典
	3	事業報告書「株主のみなさまへ」にFSC認証紙及び植物油インキを採用
	4~5	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(福島県いわき市、岩手県、宮城県)
	7	夏場の節電対策実施
	8	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定8/19~9/4)
	8	ファミ文研「ペコちゃんキッズアカデミー」イベント開始
12	「銀座ペコちゃん・Winter shop」開催(期間限定12/10~12/25)	
2012年	1	第5回「不二家食品安全の日」式典
	1	東日本大震災時の食糧支援に対し、農林水産省より表彰
	3	第1回「不二家防災の日」式典
	4	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」開店(期間限定4/14~9/2)
	6	埼玉工場で火災発生
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/24~9/2)
11	「第3回本物の5S活動発表大会」開催	
2013年	1	第6回「不二家食品安全の日」式典
	1	「スマイル運動」開始
	3	8期ぶりに復配
	6	第2回「不二家防災の日」式典
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/23~9/1)
2014年	1	第7回「不二家食品安全の日」式典
	2	『「スマイル運動」推進のための5S活動報告会』開催
	4	株式会社スイートガーデンが不二家の完全子会社化
	6	第3回「不二家防災の日」式典
	7	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」期間限定開店(7/9~9/2)
	8	第4回「神奈川食の安全・安心基礎講座」を秦野工場で開催
2015年	1	第8回「不二家食品安全の日」式典
	4	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」期間限定開店(4/24~8/31)
	5	ミラノ万国博覧会のサテライト企画にペコちゃんが協力
	6	第4回「不二家防災の日」式典
	7	平塚市美術館にて「ペコちゃん展」開催(7/11~9/13)
11	「カントリーマムFACTORY」ららぽーとEXPOCITY店がオープン	
2016年	1	第9回「不二家食品安全の日」式典







**株式会社 不二家**

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6  
ウェブサイト <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報CSR部  
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の  
無断転載・複製を禁じます。